

(様式1)

# 環境配慮検討書

文書番号(防機第03 73号)  
平成18年6月6日

三重県環境調整システム推進会議 部会長 様

防災危機管理部防災対策室長

三重県環境調整システム推進要綱第4条の規定に基づき提出します。

対象事業の名称	広域防災拠点施設整備事業(東紀州防災拠点施設整備)
担当室又は課所名	防災危機管理部防災対策室防災グループ

1 事業の計画の名称、目的及び内容

(1)名称	広域防災拠点施設整備事業（東紀州防災拠点施設整備）													
(2)目的	広域的な災害が発生した場合、災害応急対策活動を迅速かつ的確に実施するために、広域的な活動拠点を平常時から確保しておく必要がある。													
(3)事業主体	三重県防災危機管理部防災対策室													
(4)計画内容	計画地の位置 位置図を添付すること	熊野市久生屋町字馬ノ瀬 地内												
	建物・施設等の概要 (用途、規模、面積、 配置等) 配置図を添付すること	<table border="0"> <tr> <td>ヘリポート</td> <td>離着陸場</td> <td>800 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td></td> <td>駐機・駐車スペース等</td> <td>10,985 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td></td> <td>備蓄倉庫</td> <td>500 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>調整池</td> <td></td> <td>10,975 m<sup>2</sup></td> </tr> </table>	ヘリポート	離着陸場	800 m <sup>2</sup>		駐機・駐車スペース等	10,985 m <sup>2</sup>		備蓄倉庫	500 m <sup>2</sup>	調整池		10,975 m <sup>2</sup>
	ヘリポート	離着陸場	800 m <sup>2</sup>											
		駐機・駐車スペース等	10,985 m <sup>2</sup>											
		備蓄倉庫	500 m <sup>2</sup>											
	調整池		10,975 m <sup>2</sup>											
	用水の使用計画	該当なし												
エネルギーの使用 計画	該当なし													
雨水、汚水の排水 計画	雨水：調整池により河川に排出 汚水：該当なし													
道路・交通計画	該当なし													
工期	a)着工の予定時期 b)完工及び供用 開始の予定時期	・着工：平成 18年 9月頃予定 ・完工：平成 20年 3月頃予定 ・供用：平成 20年 3月頃予定												
(5)関連事業計画	紀南中核的交流施設整備事業 中山間地域総合整備事業													
(6)その他														

2 計画地の社会的条件の現況等

(1)計画地の社会的条件の現況	交通の現況	計画地周辺の主要幹線道路は、東西を国道42号と国道311号が通じている。 県道鶴殿熊野線が南北に通じ連絡道は市道久生屋金山1号線から直接乗り入れが可能である。
	土地利用の現況	熊野市は、三重県南部に位置する農山村地域であり、山林・原野の占める割合が高い。計画地においても農地で、周辺はみかん園である。
	水域利用の現況	二級河川志原川水系志原川支川太田川の上流流域。 みかん園への灌漑用ため池が点在する。
	生活関連施設の現況	生活関連施設の立地状況 a. 学校施設：市立金山小学校 b. 医療施設：特別養護老人ホームたちばな園 c. 文化施設： d. その他：山崎運動公園、農事組合法人金山パイロット
(2)関係法令等による地域の指定・規制状況	自然環境保全地域等の指定状況	自然環境保全地域（地区）、自然公園地域（区域）、鳥獣保護区の指定状況  a. 自然環境保全地域の指定：指定なし b. 自然公園地域の指定：指定なし c. 鳥獣保護区の指定：指定あり (熊野市有馬久生屋金山鳥獣保護区)
	土地利用規制の現況	都市計画法、農業地域振興法、森林法等の規制状況 a. 都市計画法：規制なし b. 農業地域振興法：規制あり（農業振興地域、農用地区域） c. 森林法等：規制なし

3 計画地の自然的条件の現況

(1)地形・地質	文献調査	文献名	地質図		
	現地調査の有無	<del>有</del> ・無 (実施日時 )		聴取調査の有無	<del>有</del> ・無
	調査結果等	<p>地形 : 鬼ヶ城より以南は、七里御浜海岸と呼ばれる陸部の上昇によって形成された海岸段丘地形である。</p> <p>地質 : 四万十層群が基盤となる泥岩・砂岩・泥岩と砂岩の互層・緑色岩からなり層厚は4,000m程度である。</p> <p>当計画位置に分布される四万十層群は古第三紀の音無川層群として区分される。</p>			
(2)水象	文献調査	文献名	太田川現地調査		
	現地調査の有無	有・ <del>無</del> (実施日時 H18. 1.26)		聴取調査の有無	<del>有</del> ・無
	調査結果等 河川、湖沼	二級河川志原川水系志原川支川太田川現況調査(河道)			
	海域	該当なし			
(3)気象・大気質等	調査の方法	文献調査(津地方気象台 1979~2000)			
	調査結果	<p>計画地最寄の観測データは次のとおりである。</p> <p>a. 気温 : 年平均気温 16.5度前後</p> <p>b. 降水量 : 年平均降水量 2,200mm</p> <p>c. 最多風向 : -</p> <p>d. 風速 : 2.1 m/s</p> <p>e. 大気質 : -</p> <p>f. 水質 : -</p> <p>g. 騒音 : -</p> <p>h. 振動 : -</p>			
(4)生態系等	文献調査	文献名	三重県レッドデータブック2005		
	現地調査の有無	<del>有</del> ・無 (実施日時 )		聴取調査の有無	<del>有</del> ・無
	調査結果等 植物	<p>植生の概要 : 計画地周辺の主な植生は、杉・檜の植林地が多い。なお計画地においてはみかん園跡地である。</p> <p>貴重な植物個体 : 当計画地には貴重な植物は見受けられない。三重県レッドデータブック2005より、木本(当地域含む)では46種の植物が掲載されている。</p> <p>貴重な植物群落 :</p>			
	動物	<p>動物相の概要 : 計画地周辺では、タヌキ、キツネ、イノシシ等が生息する。</p> <p>貴重な動物 : 当計画地には貴重な動物は見受けられない。三重県レッドデータブック2005より、木本(当地域含む)では、哺乳類1種、鳥類9種、爬虫類1種、魚類1種、昆虫類10種、真正死類14種、貝類1種が掲載されている。</p>			

(5)自然景 観・文化 財等	文献調査	文献名	
	現地調査の有無	<del>有</del> ・無 (実施日時 )	聴取調査の有無 <del>有</del> ・無
	調査結果等 自然景観	<p>自然景観の概要 : 対象地域周辺の海岸部は、吉野熊野国立公園に指定されており、海岸線は鬼ヶ城以北が、リアス式海岸、以南は砂礫海岸である七里御浜といった地形で形成され優れた自然景観がある。</p> <p>貴重な自然景観 : 特になし</p>	
	文化財、史 跡、名勝等	<p>史跡・名勝・天然記念物 : 特になし</p> <p>埋蔵文化財包蔵地 : 特になし</p>	
	野外レクリエ-シ ョン 他	野外レクリエ-ション他 : 金山パイロットみかん園でのみかん狩り	
(8)その他、 自然災害 等			

4-2 事業計画の検討内容（複数案比較が実施できない場合）

複数案比較が実施できない理由	拠点位置決定にあたり、土砂災害、津波、水没、危険施設及び利用可能施設の有無、ヘリポート設置可能などを比較し決定しているため。
----------------	--

環境配慮事項ごとに、環境配慮度を - で記入し、その配慮の内容及び配慮度の評価の理由を記入すること。

環境配慮技術指針の配慮目標 循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築 人と自然が共存する環境の保全 やすらぎと潤いのある快適な環境の創造
---

環境配慮度 : 十分配慮している。 : 配慮している。 - : 特に配慮する必要がない。
---

技術指針に基づく環境配慮事項	環境配慮度	環境配慮の内容 (- の場合は、無記入でも可)	配慮度の評価の理由
-1 地球温暖化防止			
-2 廃棄物対策		工事による発生廃材は再資源化が可能なものについては資源化処理施設に搬入し、最終処分が必要なものについては適正に処理する。	リサイクル対策。
-3 生活環境の保全		施設配置計画や工事計画において、工事時期や濁水対策等の検討を行う。	工事時期や濁水対策等の検討を行うことにより生活環境の保全に配慮している。
-4 その他重点事項			
-1 野生生物等の生育空間の確保		騒音・振動の低減により、生育空間の確保に努める。下流流域への土砂流出を防止し濁水対策を講じる。	野生生物への影響を極力迎える。
-2 希少な野生生物の保護		希少な野生生物が確認された場合は、保護等について関係機関と協議を行う。	希少生物の保護に努める。
-3 地形、地質等の改変の抑止		造成に伴う土砂搬出搬入を極力迎えるよう土量バランスを考慮した施設配置計画を行う。	現況地形を考慮し最小限にとどめる敷地計画とする。
-4 その他重点事項		調整池施工においては、恒久的構造物での施工を避ける。	傾斜面への防護には植生工を採用する。
-1 緑化、周辺景観との調和		切土面及び盛土面へは植生工を施し緑化に努める。	植生の回復に努める。
-2 親水等、ふれあい空間づくり		該当なし。	
-3 その他重点事項			
上記以外の特記事項			

5-2 事業計画案の環境配慮に係る評価

従来の事業等と比較して優れている点	調整池について、極力自然素材を使用し、自然環境の確保に努める。
今後の課題	
会議での調整を要する事柄	特になし